

前回協議会(R7.8.6)における意見概要と対応状況

意 見 概 要	対 応 状 況
<u>1 学校教育との連携について</u> ・R4年度から話していた呼子小学校への出前講座が、R7年度にようやく実現することができた。この講座が1回限りにならないように呼子小学校と名護屋城博物館の年間行事に定着してほしい。 ・名護屋小とか、青翔高校とかだけではなく、合併前の旧唐津市とかの学校で出前講座などをやって、学校との連携をもう少し広げた方がいいのではないか。	<u>1 学校教育との連携について</u> ・R7.5.30に呼子小学校全校朝会で大綱引き談話を実施。R8年度は名護屋城博物館から呼子小学校に複数の講座を案内しているところで、その中から希望される講座を年度内に実施予定となっている。 ・出前講座については、学校から申し込みがあれば受けており、以前は、近隣、唐津市内、佐賀市の方にも出前していたが、最近はあまり申し込みがない。新型コロナで呼ばなくなってそのままなのか、学校のカリキュラムに変化があったのかは把握できていない。 また、博物館に学校行事として来ていただきたいが、現状は、小規模の唐津市内の小学校に来ていただいているイメージ。昨年度、学校の先生に聞いたところ、バス代がなく、バス旅行でも、当館方面に他に行くべき場所がないので選びにくいということであった。今年度は、プラプラの開業で佐賀県内の小学校にバス代の補助が出ると聞いている。県の担当部局に当館の紹介をプラプラの資料と一緒に送ってもらった。プラプラに行く時に寄っていただけるのを期待している。
<u>2 太閤道の整備について</u> ・大手口から入ったが、入口がよく分からない。もっと整備をしていただき、来訪者に体験できるようにしていただきたい。	<u>2 太閤道の整備について</u> ・唐津市肥前名護屋城室に尋ねたところ、大手口を起点とした1.2キロについては、3年前からマップを作成して案内所へ置いており、2箇所に説明看板を設置しています。また、区間内に表示しているラミネート加工の太閤道誘導サインも年に1回(50箇所)変えられているそうです。太閤道全体(約16km)の整備は困難ですが、今後もこの区間内においては、地元市民団体の協力(草刈り・案内ガイド)も得ながら、周知に努めたいとのことでした。
<u>3 情報発信について</u> ・呼子、鎮西、名護屋に限らず、近くは旧唐津市内、佐賀県内へ範囲を広げては。 ・名護屋城の価値を全国放送とまではいかないまでも佐賀県内での放送など、情報の工夫をできないか。	<u>3 情報発信について</u> ・R8年5月9日にテレビ朝日の博士ちゃんで名護屋城がとりあげられ、城跡や館所蔵品について1時間弱放映していただいた。5月の来館者は前年度比1.5倍で、全国放送の影響を強く感じた。今後も機会を逃さないよう情報発信に取り組んでいきたい。
<u>4 その他</u> ・R8年度の開催案内通知の際に、委員の方から「城跡見学の暑さ対策」についてお尋ねがありました。	<u>4 その他</u> ・城跡管理者の唐津市に尋ねたところ、設備等を新たに整備するのは難しいとのことでした。当館や海月など、近隣施設でクールダウンしていただくのが今のところの対策です。